

# 明日をつかめ

横浜市立釜利谷中学校  
進路通信

第2号

先週から授業もはじまり、最上級生としての中学校生活も本格的にスタートです。先生も授業に行き、みなさんとはじめての対面ができました。1年間よろしくお願ひします。

進路通信の第1号では、「進路へ向けて大切なこと」として、①時間を守ろう、②服装を整えよう、③提出物は期限を守ろう、という3つを確認しました。

今回は「進路に向けて大切なこと」(その2)です。当たり前のことばかりですが、この積み重ねが進路希望の実現につながるので、しっかりと意識をしてほしいと思います。

## 進路へ向けて大切なこと (その2)

### ①あいさつをしっかりしよう

親しき仲にも礼儀あり。普段の朝学活や帰り学活、授業の場面で“あいさつ”が馴れ合いになっていませんか。初対面の方とのコミュニケーションも、“あいさつ”からはじまります。公立受検の面接練習をすると、まず頭を下げて挨拶することがうまくできない人が多く、そこから指導されていました。日々の生活の中で意識をしていきましょう。

また1号でも書いたように、6月頃からは高等学校の先生方も多く来校されます。職員室前で会ったお客様に、3年生が元気の良い“あいさつ”をしてけると、釜利谷中学校の印象がとて良くなると思います。ご協力ください。

### ②言葉遣いを見直そう

友達どうしの会話ではなく、地域の方や先生方などと話すときに敬語が自然にでてくるように練習して下さい。公立高校の入試では必ず面接試験があり、総合得点のほしい2割ぐらいの配点です。

面接の時には、丁寧な言葉遣いが求められます。緊張した場面では、普段の自分が出てしまうことがあります。日々の生活の中で、先生方への言葉遣いをしっかりと意識することは、来年2月の入試につながります。(私立の推薦入試は1月です。)

### ③諸活動に、積極的に参加しよう

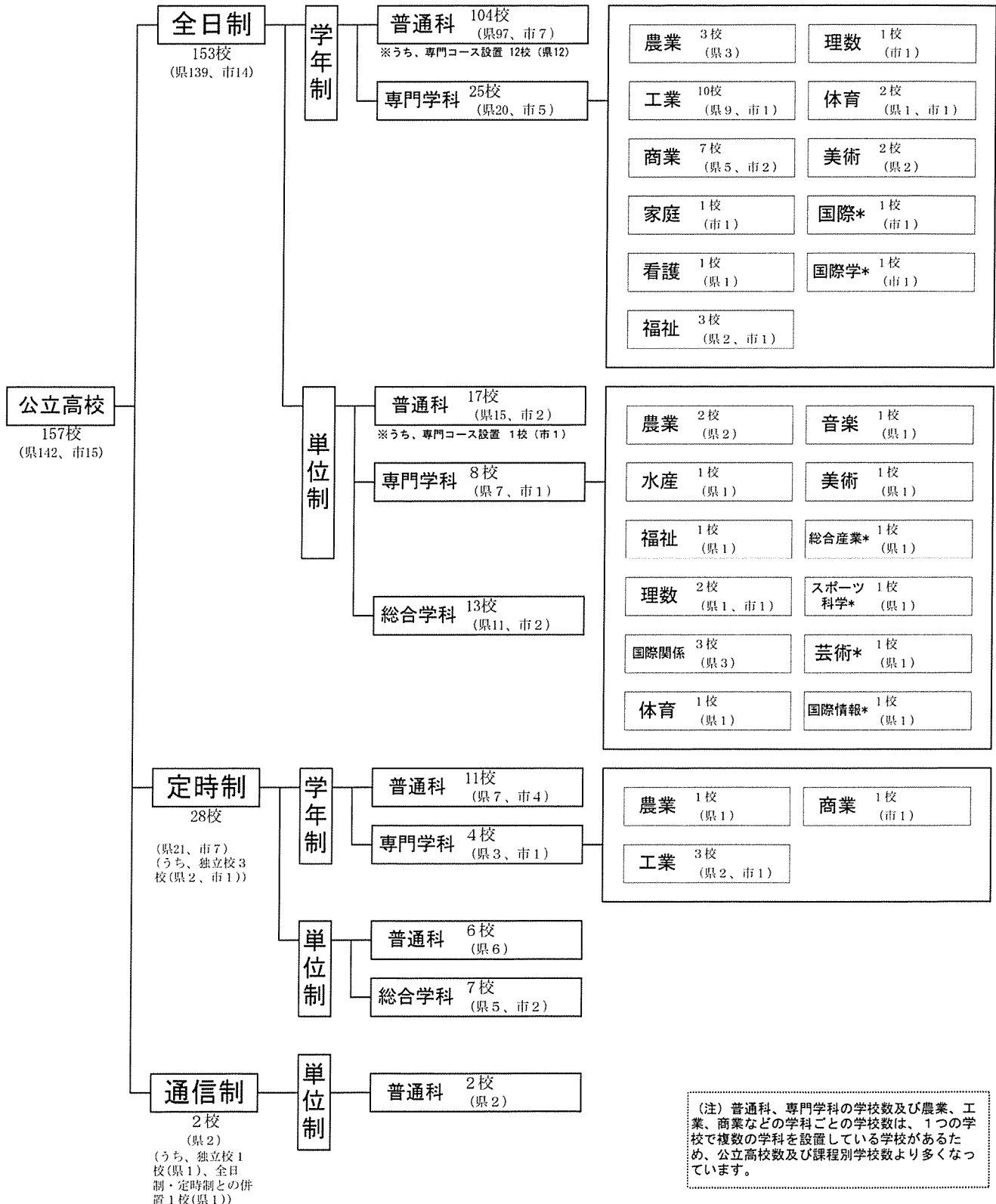
体育祭・文歌祭などの学校行事や、部活動や委員会・係活動は、ぜひ前向きに全力で取り組みましょう。機会があれば、校外での習い事(趣味・特技)やボランティア活動などにも積極的に参加しましょう。自分にとってプラスの活動を心がけ、自分の潜在能力や長所をたくさんつくりましょう。

公立高校の入試では「面接シート」というものを書きます。そこでは、学習面以外でも中学校で何を頑張ったかを書く欄があります。高等学校では、中学校時代に教科学習以外にも何か意欲的に取り組んでいるものがあつた生徒を入学させたいと考えています。どこで自分をアピールできるのか、これからの生活の中でみつけて頑張っていきましょう。

# 神奈川県公立高等学校

(平成30年4月現在)

- 神奈川県には、県立と市立をあわせて、157校の公立高等学校があります。
- 高等学校（以下、「高校」といいます。）は、学習形態（学習時間、修業年限、学習方法など）の違いによって、全日制、定時制、通信制の課程に分かれています。
- それぞれの課程は、学びのしくみによって、学年による教育課程の区分を設ける学年制と区分を設けない単位制に分かれます。さらに、主に学習する内容によって、普通科・専門学科・総合学科に分かれています。



表中 \*印が付された学科は、「高等学校設置基準」における「その他専門教育を施す学科」に分類される学科です。